

宴会とちょっとだけクライミング 小川山

(報告) N山

◎山行期日 2018年6月9～10日

◎メンバー K藤、N山友人、N山(L)

突然ですが、山関係の SNS をやっております、そこでのハンドルネームは ”くらげ“ にしています。なぜ”くらげ“か？とよく聞かれるのですが、あまり意味はなく、たまたま江ノ島水族館に行った際、友人と LINE をやろうと言われ、本名以外で何かないかと思ってたら、水族館のくらげが、気持ちよさそうにフワフワ泳ぐのをみまして、くらげ と命名した次第です。

これが、またなんとなく自分にふさわしく、いつもフワフワしいて、掴み所がないところとか、善人ぶって毒気がなささうですが、毒棘があり、チクチクと人を弄り刺す性格だったりしてまして、とても気に入っております。

今回は、K藤さんと、山の SNS で知り合った Ma-bu さんと 3人で、最初はツクモグサの群生を見たさに小同心クラックを立案したのですが、天候も悪いので、ほぼ一年中晴れている小川山で、宴会とクライミングをやろうとあいなりました。

小川山は不思議な山域で、八ヶ岳あたりが雨ザーザー降っていても、カラッと晴れていることが多く、異様な晴天率をほこります。おそらく小川山周辺の川上村だけが異次元につながっており、この世の理とはまた違う世界なのではないかと、オカルト好きのわたくしとしては、思う次第です。

案の定駐車場に着くと、ピーカンです。K藤さんの格好いい目立つジムニーをみつけだし側に止めて、とりあえずはいつものところにテントを張り場所取りをします。ここは、水場とトイレが近い最高の立地でございます。K藤さんもいつもこの辺らしく、やはり人気の物件なのでしょう。

さっそく、クライミングに行こう行こうとなり、お二人にはカムとナッツを持っていただきました。そう、今日はナチュプロで登るのです。

わたしの友人 Ma-bu さんはこれで3回目の小川山なのですが、事あるごとに

「あれがマラ岩？」

「あれ、やっぱりマラ岩だよね」

「うん、あれがマラ岩だね」

と毎回毎回よく聞く人で、よっぽどマラ岩に登りたいのだろうと思い、それじゃあ、マラ岩を登ってもらおうと思った次第です。

「今日は、マラ岩にいきましょう」とつげたら、K藤さんも Ma-bu さんも「マラ～マラ～」と言いながら喜んでおります。マラ岩について、わたしのロープは残して、取り敢えずは“川上小唄 5.9”へ。K藤さんにリードとも思ったけど、少しランナウトしてるんで、わたくしがお手本を。正直なところ、グレードの低い課題って苦手です。ランナウトしているし、いろんな意味で落ちれないし、でも久々にのぼりましたよ。あのキムタクも登った“川上小唄”にマラ岩のてっぺんに着いたら、男なら立たないといかんなどおもいまして、立ちました。「立ったぞー」と心の中で叫びました。メッチャ怖い。

2番手はトップロープで Ma-bu さん、念願のマラ岩に登れて嬉しそう。ただ、てっぺんでは流石に跨ぐ事も出来ず。「ひょえ～怖～」と歓喜の声を叫んでました。よかったよかった。

次にK藤さん、ヌンチャクありのFLトライ、ランナウトは少し怖かったみたいだけど、バッチリ登りました。

わたしは、レギュラーをやりたかったので、マイロープを取りに行ったら

「あれ？無いよ」

わたくしの高級マムートロープ、インフィニティが無い。

よく見ると、クラックルートにトップロープとして使われてる。

しかもなんか知らない人がブルージックしてるし。

「あの～それ、わたしのロープなんですけど」怒りを抑えながら問いただす。

「え？」ボケっとしてる。

おいおい！っておもったら、リーダーらしい人物が、

「おめえたちなにやってんだ！すみません、すみません」

あやまられてしまった。

「〇〇さんって、クライミングに限らずそうだよな、なんでそうなのかなあ……」

ネチネチいい感じに叱ってるので、しょうがねえなあとなり

「気をつけてね～」となりました。

ただ、そのリーダーらしき人物から

「あの、すぐロープつかえますか」と聞かれ、流石にカチンときて「あたりまえでしょ！」と行ってやりました。

気持ちを取り戻してレギュラー5,10cですね

前回トライしたのが4年前完全に登り方忘れしました。各駅停車でトップアウト、核心の処理がわからん。

K藤さんとMa-buさんもトップロープトライ、ガバだけど手順がわからないと難しい課題ですね。こういう課題をオンサイトでできるといいんだけどな。わたくしもう一度やるけどやっぱり核心が抜けられず、宿題です。

移動して、NPの簡単なのってことで”愛情物語5.8”、カムのセット方法などなど説明して、とりあえずわたくしめが、リードをやります。やっぱあれですね、5.8位が一番快適ですな。トップロープ張ったので、K藤さんには余ったカムで練習しながらトップロープで登ってもらいます。

慣れないうちは、サイズがわからず戸惑っています。こればかりは慣らすしか無いですな。

Ma-buさんもトライ、ハンドジャムを上手に決めれたようです。



トップロープをしながら、カムの練習をするK藤さん



愛情物語 西山友人のMa-buさん
振られ止めのカムを回収しながら

クライミングはお腹もいっぱいなので、そろそろ宴会です。そうクライミングは余興で宴会がメインなのであります。3人で「そうだそうだ、宴会じゃ」と意気投合し、トップロープの支点回収。となりの昔オンサイトできたルートを使って登り返して回収に行くも、雑に登るとダメですね。「オンサイトしたんですよね？」とK藤さんに突っ込まれる始末、「いや、今日は宴会だからさ」と逃げましたが、疑惑の課題になってしまった。

一度登れた課題は二度登るものではないと痛感した次第です。それでもなんとか回収して、駐車場へ、食料は持ってこなかったの、買い出し班と焚き火班に分かれます。

ナナーズの買い出しはわたくしが、囲炉裏作りと焚き木集めは2人に任せます。

K藤さん「ビール飲んでいていいですか？」と聞かれ、「お、おう、いいけどさ」と答えておきました。

ナナーズまで買い出しに行って本日は焼肉でございます。肉は、安そうな牛肉と豚肉、ホルモン系が食べたかったですが、無くてレバー、野菜は、ミニトマトを焼きトマトにしたいのとシシトウとナス。

K藤さんからリクエストで「恵比寿が欲しい」と言われ、上手にパシれたと思います。

焚き火に火をつけつつ、お腹の我慢が出来なくなってきたところで、焼肉です。焼肉大臣はK藤さんを任命「K藤さん、焼肉大臣に任命する！」いやぁ久しぶりに飲みましたよ、記憶ほとんどないです。コップを忘れたので、でかいシュラカップにしたのが失敗、しこたま焼酎を飲んだのせいでしょう。もう、千鳥足どころか、ひっくり返る始末、いやぁ楽しいな。大臣に任命されたK藤さん、バンバン焼いてもらいます。「大臣！焼肉～焼け焼け！焼くんじゃー」とわたくし。



1日焼肉大臣 K藤氏 肉も焼いてね

Ma-buさんが大人しかったので、強制的に食べさせます。「俺の肉がくえねえのかぁ」みたいなかんじで、宴は続きました。最後にかろうじて残っている記憶は、K藤さんと星を二人で眺めながら「きれいだねー」「うん♡」みたいな甘い会話をしたような気はします。

翌朝

朝5時ごろ目が覚めて、ヌボ～っとテントから一人で這い出してお湯を沸かして、コーヒーを。

「コーヒーをインスピレーションの源と行ったのは、イタリア人だったかな フツ」

と、訳の分からんことを考えながら水のように薄いブラックをクイクイ飲む。

気温はちょっと涼しいくらい、気の早いクライマーが目の前を通る。

天候は、雲はあるもののお昼前ぐらいいはもつかなって感じ、でも気圧計を見ると、830hp！ゲ！こっつてそんなに標高は高くないよね。

じゃあこの晴れ間は嘘だなぁ気圧の履歴をチェックすると、上がったたり下がったりこりゃ 荒れますね。小川山は異次元ではなさそうです、ちゃんと現世とつながってありました。早く登りたいけど、K 藤さんのテントからは、かわゆい寝言が聞こえてるし、Ma-bu さんもまだまだ寝ている。起こすのはかわいそうっとおもったら、お二人さんもモソモソ起き出してきました。食事を終えて荷物もなるべく片付けて、父岩に向かう。昨日はマラで、今日はチチと下世話なことを感じていたのは、おそらくわたくし位のもんだろう。

父岩へ到着して、取りあえずお二人には”小川山物語 5.9”をやっていたきたい。

5.9 の課題だが、30m 程あり長いルート核心はなかったとおもうので、K 藤さんリード、初めてなのでオンサイトトライ、途中ミシン踏んでいたけど、オンサイト成功 おめでとう！あの足が震えるのって、止まんないですよ〜 気持ちわかるわぁ。Ma-bu さんはトップロープでトライ、ワンテンですが、登り切りました。



2 日目 小川山物語 オンサイトトライ K 藤さん

わたしはそばの“岸壁の父 5.10b”オンサイトトライ。ほんと、普段サボっているのがわかります、トラバースで足が乗り切れず、結局テンション「クソクソクソ」と叫んでしまいました。お恥ずかしい。これ、ちゃんとジムとか通ってれば登れるよなぁと反省、2つも宿題を残してきました。

10 時ごろ駐車場にもどり、干してあるテントを片して撤収。いまにも降りそうな天気、でも降る前に上がったので良かった良かった。

小同心クラックは、また夏に計画を立てて、行こうかと思えます。



岸壁の父核心 オンサイトトライ中 N 山

《実施課題》

- ・マラ岩 川上小唄、レギュラー
- ・妹岩 愛情物語
- ・父岩 小川山物語、岸壁の父

《記録》

- 6 月 9 日 8 時小川山着 マラ岩 3 時撤収
- 6 月 10 日 8 時出発 父岩 9 時半撤収